取扱説明書（EC-1型，EC-1L型，兼用）

IDEAL GOOD IDEA ®

EC-1 EC-1L 電動缶切機

PAT.P.

このたびは電動缶切機をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

○この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

○この電動缶切機は食用缶にご使用ください。

EC-1型

○１号缶（径153㎜）を約５秒で開缶。

○１号缶の大量開缶から小径缶（74㎜）まで、速く、楽に、きれいに開缶。

○強力に省力化、能率化をお手伝い。

EC-1L型

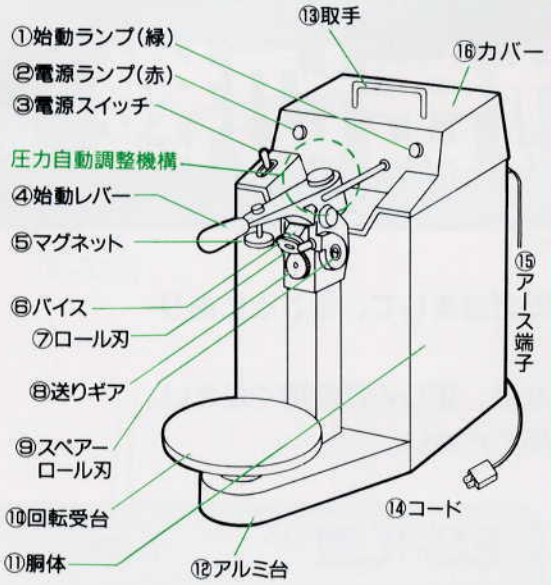
○ロング輸入缶（高さ265㎜×径153㎜）から小径缶（74㎜）まで。缶の受台の高さを調整するだけで、楽に開缶。

株式会社 新考社

〒334 埼玉県川口市安行原2115

TEL.048-295-2211 FAX.048-295-2218

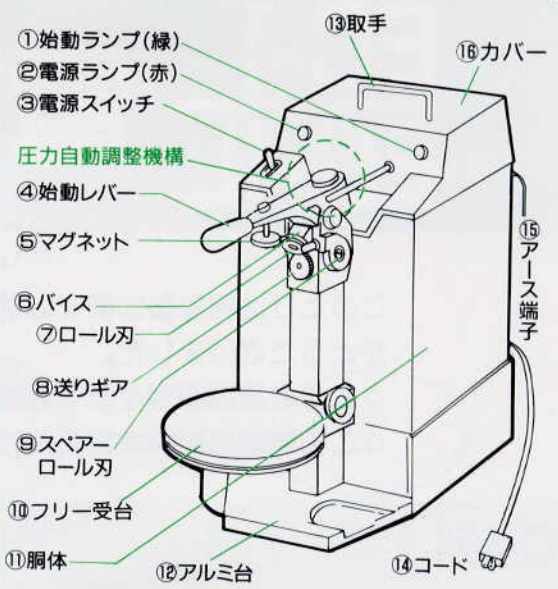
EC-1各部の名称



EC-1の仕様

1. 消費電力：100V 50/60Hz 300W
2. 開缶が出来る缶：直径74～153mm 高さ176mmまで
3. 大きさ：幅230×奥行475×高さ530mm
4. 重量：10.5kg
5. 主要部品の材質
   - 胴体 アルミダイカスト・塗装付
     ステンレス・スチール
   - 缶切部
     - 本体：亜鉛ダイカスト、クロームメッキ仕上
       ベアリング　ステンレス軸
     - 支柱：ステンレス・スチール
     - 始動レバー：亜鉛ダイカスト、クロームメッキ仕上、
       マグネット付、アルミハンドル、
     - ロール刃：鋼焼入、ニッケルメッキ仕上
     - 送りギヤ：鋼焼入、クローム・メッキ仕上
   - 回転受台 ステンレス・スチール

EC-1L各部の名称



EC-1Lの仕様

1. 消費電力：100V 50/60Hz 300W
2. 開缶が出来る缶：直径74～153mm 高さ265mmまで
3. 大きさ：幅250×奥行475×高さ560mm
4. 重量：12.0kg
5. 主要部品の材質
   - 胴体 アルミダイカスト・塗装付、
     ステンレス・スチール
   - 缶切部
     - 本体：亜鉛ダイカスト、クロームメッキ仕上
       ベアリング ステンレス軸
     - 支柱：ステンレス・スチール
     - 始動レバー：亜鉛ダイカスト、クロームメッキ仕上、
       マグネット付、アルミハンドル、
     - ロール刃：鋼焼入、ニッケルメッキ仕上
     - 送りギヤ：鋼焼入、クローム・メッキ仕上
   - フリー受台 ステンレス・スチール、アルミ鋳物

※一部、輸入缶詰及び巻締め部に不適合の場合があり切れにくい事があります。
メーカーにて特別仕様に調整いたしますので御相談ください。

1）缶の大小にかかわらず径74mmから径153mmまで、楽に開缶が出来る圧力自動調整機構付

2）きれいに楽に開缶出来ます。

3）始動レバーとスイッチが連動しているので、スピーディに開缶出来ます。

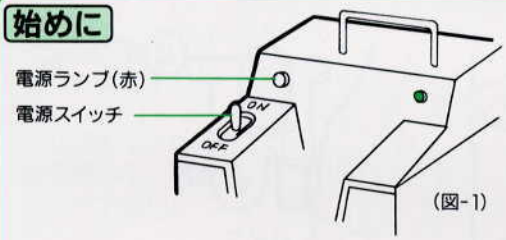
4）スペアーのロール刃が1セット本体に収納されております。

5）送りギアは裏返しをして、もう一度ご使用頂けます。

6）部品が磨耗した場合は、その部品の交換で、従来通りご使用頂けます。

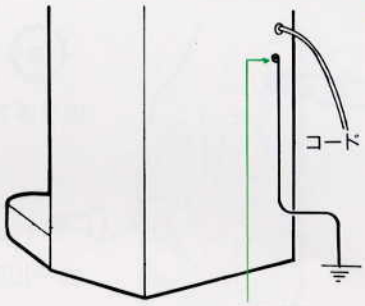
EC-1の使い方

始めに



(図-1)

コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを〝ON〟にします。
赤いランプが点灯して、開缶が出来る状態になります。

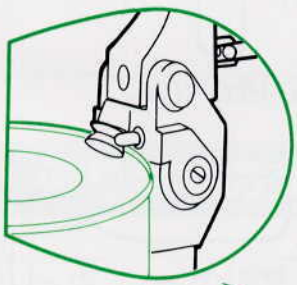


(図-2)

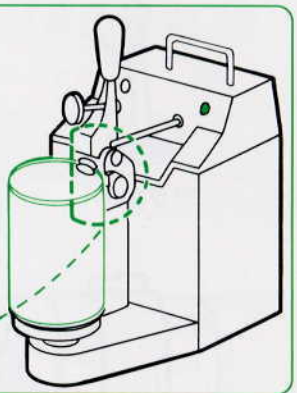
注意：胴体の背面にアース線がありますので、ご使用の前に必ず適切に接続して下さい。

1号缶を切る時

○始動レバーを起こします。受台を押し下げる様に缶を受台に置き、缶のふちを送りギアとロール刃の間に拡大図の様に正しくセットします。
（注意）切り取った蓋で、手に傷を付けない様に充分に注意をして取りはずして下さい。


(拡大図)

○始動レバーを倒すとスイッチが入り開缶を始めます。
○開缶後、始動レバーを起こすとスイッチが 切れます。
○切り取った蓋を外します。
○缶を押し下げる様にして取りはずします。

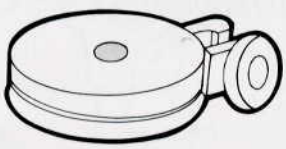


小さな缶を少量切る時

（注意）
切り取った蓋で、手に傷を付けない様に充分に注意をして取りはずして下さい。

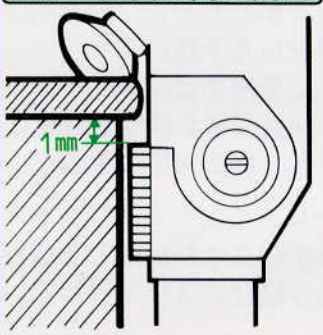
○図の様に缶を手で受けながら、缶のふちを送りギアに正しく乗せて、始動レバーを倒しますと開缶を始めます。（開缶をしている時は缶から手をはなして下さい。）
○開缶しましたら、必ず缶を手のひらで受けて始動レバーを起こします。自動的にスイッチが切れ、缶がはずれますので必ず手のひらで缶を受けて下さい。

フリー受台



多量の小径缶（径98㎜～径74㎜）をEC-1 缶切で切るときには、このフリー受台に交換して開缶すると便利です。

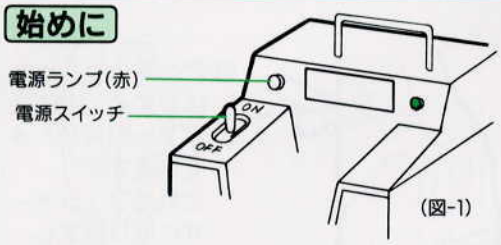
フリー受台の高さ調整



○缶を受台にのせます。
○缶の上蓋の巻締部の下側がギヤー上部より１㎜上になった所で受台を固定します。
○この間隔を必ず守って固定して下さい。

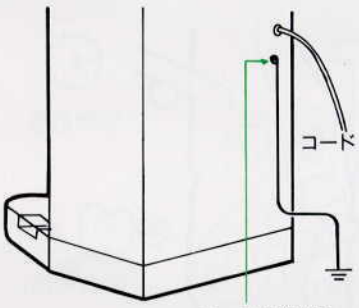
EC-1L の使い方

始めに



(図-1)

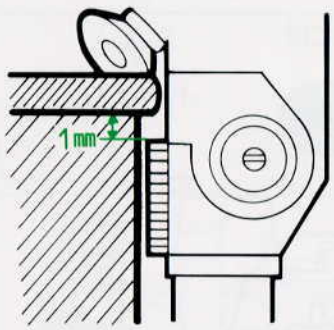
○コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを〝ON〟にします。
○赤いランプが点灯して、開缶が出来る状態になります。



(図-2)

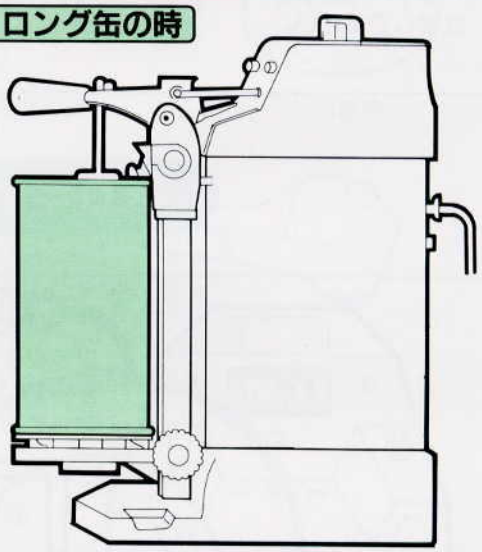
注意：胴体の背面にアース線がありますので、ご使用の前に必ず適切に接続して下さい。

フリー受台の高さ調整のしかた



○缶を受台にのせます。
○缶の上蓋の巻締部の下側がギヤー上部より1㎜上になった所で受台を固定します。
○この間隔を必ず守って固定して下さい。

ロング缶の時

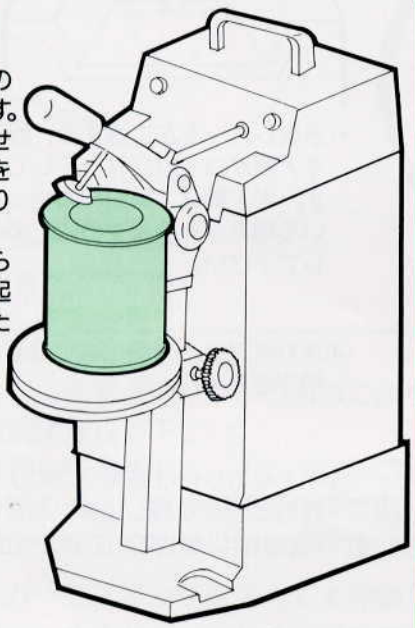


○缶の受台を缶の高さに合せます。
○缶を受台にのせ始動レバーを倒して缶を切ります。
○開缶が終ったら始動レバーを起して切り取った蓋を外し、缶を取ります。

（注意）切り取った蓋で手に傷をつけないよう注意をして取りはずして下さい。

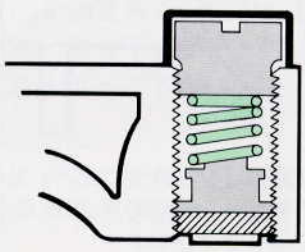
小径缶の時

○缶の受台を缶の高さに合せます。
○缶を受台にのせて始動レバーを倒して缶を切ります。
○開缶が終ったら始動レバーを起して切り取った蓋を外し、缶を取ります。



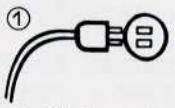
（注意）切り取った蓋で、手に傷をつけない様充分に注意をして取りはずして下さい。

圧力自動調整機構

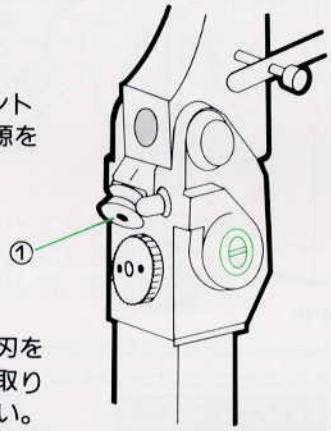


○缶の大小にかかわらず、無理なく開缶する圧力自動調整機構付

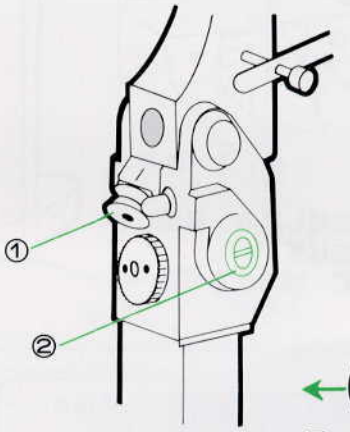
刃の交換のしかた



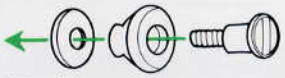
プラグをコンセントから抜いて、電源を切って下さい。



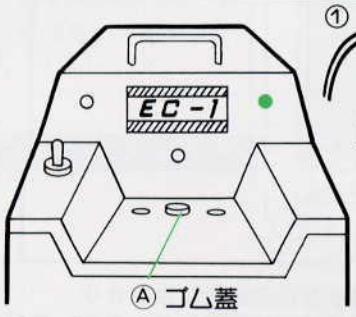
②①の使用済の刃をドライバーで取りはずして下さい。

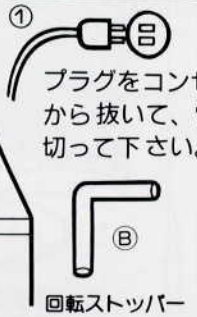


③②の所のシールをはがすと、中にスペアーの刃が入っています。
これをワッシャー共に取りはずし、①の所に下図のようにしっかりとつけ替えます。



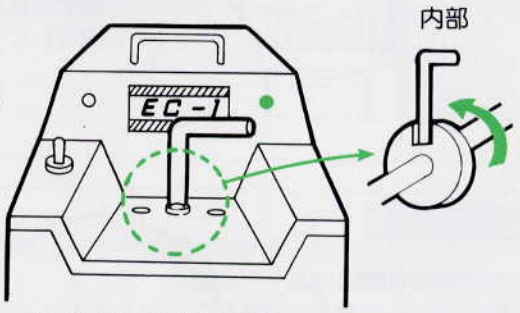
送りギヤの交換のしかた



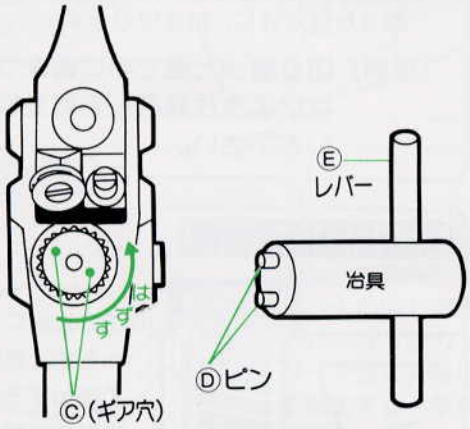


プラグをコンセントから抜いて、電源を切って下さい。

②Ⓐのゴム蓋を引き抜き、Ⓑの回転ストッパーをⒶの穴に差し込んで下さい。



○冶具レバーを左に廻すと、回転ストッパーでギア軸がロックされ、そしてギアがはずれます。ギア軸に、調整の為ワッシャーが入っている場合がありますので、必ず元の位置に戻して下さい。

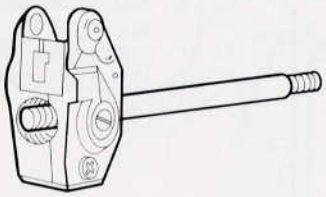


③ギアの穴Ⓒに冶具のピンⒹを差し込み、しっかりと押し当てながら、矢印の方向(左廻り)へ、レバーⒺを廻して下さい。

④送りギアは、未使用面に裏返してもう一度使用できます。

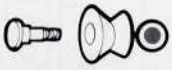
⑤ギアを取り付ける時は③のようにギア穴に冶具のピンⒹを差し込み、時計の針の進む方向(右廻し)に廻して、しっかり止めて下さい。

EC-1及びEC-1L の主な交換部品

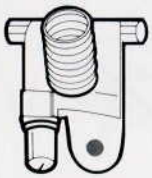


本 体
ロール刃付

送りギア



ロール刃



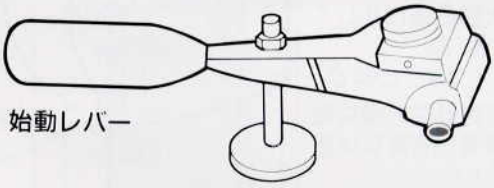
バイス

マグネット

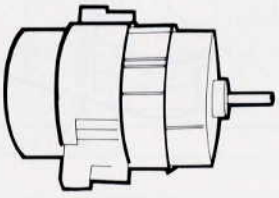
EC-1受台用バネ

EC-1受台用パイプ

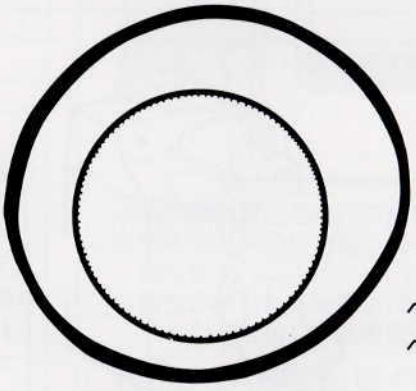
回転台



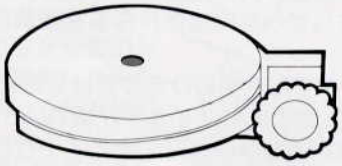
始動レバー



モーター



ベルト(大) M-27
ベルト(小) MB-460



フリー受台

使用上の注意

①連続使用していますとモーターの過熱により、停止する場合があります。30分位の時間をおいて再使用をして下さい。
②部品等が摩耗して来ますと、刃とギアーの位置がずれて来て、切り粉の出が多くなって来ます。機械の部品交換や調整が必要です。 お問い合せ下さい。
③使用後はプラグをコンセントから必ず抜いて電源を切って下さい。

注意：手動レバーでスイッチを入れても作動しない場合。

①リミットスイッチのバネが折れてる場合がありますので交換が必要です。
②ベルトが切れるか延びてスリップしている場合がありますので、交換が必要です。

※缶切は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。